

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価 計画

学校名	みやき町立北茂安小学校			
1 前年度 評価結果の概要	・「学力の向上」に関しては、前年度から取り組みはじめた「3Cミーティング」を年3回実施した。本校の課題「学力2極化」への具体的な対策として実践を継続する。 ・「心の教育」に関しては、道徳の授業や人権集会等で、思いやりや命の大切さを実感する児童の育成に取り組むことができた。 ・「健康・体づくり」に関しては、昨年度から「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」について取り組んだ。日々の給食指導や、担任と栄養教諭によるTTでの授業、朝食振り返り週間や学校給食週間で、繰り返し指導を行った結果、少しずつ成果が表れてきた。			
2 学校教育目標	未来を切り拓く北っ子 ～学び合い、つながり合い、磨き合う児童の育成～			
3 本年度の重点目標	1 全職員で全児童を見守る組織作り 2 勤務時間の縮減に繋がる業務効率化・適正化、組織体制の工夫 3 学力向上（校内研究の充実、学力2極化への対応） 4 自己有用感、自己肯定感を高める教育の充実			
4 重点取組内容・成果指標				
(1) 共通評価項目				主な担当者
重点取組				
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	
●学力の向上	○学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	○学習状況調査で全学年の総合平均点が前年度平均点を上回る。下回った領域への対策を講じる。	・授業の導入を工夫し、児童が前のめりになる手立てを講じる。	○学力向上担当
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童の割合が、70%以上。	・授業では、振り返りの時間を設け、これからの自分の生き方について考えさせる。 ・ふれあい道徳を計画的に実施する。	○道徳教育
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていと回答した教職員の割合が90%以上	・日常的な観察やアンケートの実施による早期発見。 ・ケース会議や生徒指導協議会による早期対応と共通実践。	○生徒指導担当
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・将来や進路を見据え、必要な礼儀作法を身に付けさせるためのマナー教室(6年生)を実施する。 ・卒業に向けて、将来の自分について具体的に考えさせるために、「夢の教室」などの取組を行う。	○特別活動・6年
●健康・体づくり	②「望ましい生活習慣の形成」	②健康によい生活をしている児童 80% (睡眠・朝食摂取・運動をしている児童)	・健康に関するアンケート実施 ・「早寝・早起き・朝ごはん・運動」チェック週間の実施 ・スポーツチャレンジへの参加 ・生活習慣に関する指導の実施 ・児童の委員会活動を活用した呼びかけ ・便りの発行	○体育・食育担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・パソコンによる業務管理の徹底 ・定時退勤日の設定 ・時間外勤務時間のフィードバックによる個々人の業務改善の推進 ・業務分担、計画的な業務推進等による年休取得率アップ	○教頭
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				主な担当者
重点取組				
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	
○教職員の資質向上	○校内研究の充実 研究主題「学ぶことを楽しむ学校づくり」教師の主体性をスタートとした、グループ研究に取り組む。	・研究授業やミニ研修会やプレゼン発表などの方法で、1人1回以上のアウトプット機会をもつ。	・3か月程度の試行期間を設定し、教員間の自己・他者理解の促進やデモンストラーションの機会を設定し、グループ編成と教師の主体的な取り組みを推進す	○校内研究
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育				
5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・			